

宣教130周年記念大会のご報告

大会参加者 **1692** 名



登録者1242名+リモート集会開催52教会315名+登録なし135名

ご参加ありがとうございました。

宣教130周年記念大会実行委員会

西村敬憲 増井恵 小山望 鄭南哲 下田陽介 鈴木美絵 中村忍 野町真理 本多民生

大会後記

宣教130周年記念大会は、これまでに経験したことのないコロナ禍の大会でした。実行委員会からの大会後記として、舞台裏のお話も少しだけしておきたいと思います。

130大会は当初(20年9月)は、収束を期待して、つま恋リゾート(掛川)での800-1000人規模での開催を予定していました。しかし、コロナ禍は収まらず、21年3月予約をキャンセルしてリモート開催に変更、配信会場教会を決め準備は進められました。ところが8月の第5波で緊急事態となったことで、会場教会にご迷惑をかけないように、また準備の都合も考え、急遽教団事務所を配信会場にしました。密を避けるため、当日の奉仕者をできる限り減らし、綱渡りのような場面もありましたが、何とか大会をリモートで開催することができました。開催方法変更の際に委員会が優先したのは、リモートが難しい方々のことで、各教会でリモート集会所を昼食を挟まずできるように23日午後に全体集会所をまとめました。そこを中心に集会所を配置した関係で、世代によっては参加しにくい時間帯のプログラムもあったと思います。大会企画の難しさは、全世代を対象にしていることで、何とかバランスとって一生懸命考えましたが、アンケートによれば色々足りない所もあったようで申し訳なく思っています。

その一方、リモートでの大会ということで、思い切った企画ができたことは今回特に感謝でした。まず「宣教地を繋ぐプレゼンテーション」。全体集会所で、世界に遣わされた宣教師たちと開拓伝道者の現地からの生の声が聞けました。ただ、あまりに整ったプレゼンだったため録画と勘違いをした人がいたようです。そして「分科会」も、リモートだからこそ28のバラエティに富んだテーマで、国外を含めて色々な講師をお招きして開催することができました。それぞれ充実した学びの時となったようで、一つしか出られないのが残念という声もありました。それから、「ドキドキわくわく出会いの祈り会」も、日本全国に遣わされている27名の若手教職者たちがみことばを語ってくださり、距離と世代を越えて、祈りと交わりの時を持つことができました。そして、良い説教者との出会いを喜ぶ声が多数届いています。

実行委員として振り返ると、コロナ禍、リモートでの130大会は本当に大変ではありましたが、これまでにない多数の参加者が与えられ、新しい可能性を開く大会となったと思います。まだ全体集会所の動画は下記のリンクで見られますのでぜひご覧ください。

副実行委員長 増井恵
(いわきキリスト教会)



←全体集会1

配信映像

全体集会2→

